神澤 杏和　グアテマラ

（助産師・2018年度2次隊・群馬県桐生市）

［グアテマラ共和国］

グアテマラ共和国の概要
1. 面　　積：約10万㎢(北海道と四国を合わせた広さ)
2. 人　　口：約1,600万人
3. 首　　都：グアテマラシティ
4. 民　　族：マヤ系先住民、メスティソ、欧州系…
5. 言　　語：スペイン語(公用語)、その他２２のマヤ系言語
6. 宗　　教：カトリック、プロテスタント…
7. 通　　貨：ケツァル(GTQ)
8. 主要産業：農業(コーヒー、バナナ…)、繊維産業
9. G　D　P　：4,545.09(US$)【世界106位／190国】

［お気に入りのグルメ（食）］

タマル

とうもろこしの粉を練って、鶏肉や野菜をトマトソースで煮込んだものをくるみバナナの葉に包んで蒸したもの。普段も食べますが、特にクリスマスやお誕生日などイベントのときに大量に作られます。とうもろこし粉だけでなく、米やじゃがいもで包むものもあります。

グアテマラといえば、なんといってもコーヒーです。

コーヒー豆は育てられる環境により特徴がかわるそう。火山や山岳、湖、海、激しい寒暖差や降水量、、、多くの顔を持つグアテマラでは各地で様々な特徴をもつコーヒーに出会えます。特に私のお気に入りは、サンフアンのハニーコーヒー豆です！

［私の任地］

1. 任地の名前：キチェ県チニケ市
2. 人　　口：12,441人（うち、マヤの人口率：69.79%）
3. 首都からのアクセス：バスを乗り継ぎ 4～5時間
4. 標　　高　：1,900m

［活動内容］

チニケ市の保健センターへ配属され、妊産婦の死亡減少という大きな活動目標のもと、伝統的産婆の調査と指導・性教育の普及という２本柱で活動をしました。

チニケ市は自宅出産が半数以上であり、そのお産を担うのは免許を持たない伝統的産婆で、知識が不足しています。

「グアテマラには助産師という職がありません。」

伝統的医療に頼る伝統的産婆の事をまずは知ることで、その後必要な知識の指導を行いました。

任地の妊婦の20.5%が若年妊娠であり、性教育がタブーとされるなか、内容を工夫し、性教育の普及にも勤めました。

【伝統的産婆の調査と指導】

指導前にまずは彼女たちの事を知る！ということで彼女たちと一緒になり、マヤの伝統医療（薬草や考え方等）を学ぶため、毎月彼女たちのコミュニティに通いました。　関係性を築け、写真嫌いな産婆達が一緒に撮ってくれた研修後の一枚。

【性教育の普及】

小学生を対象に「人生計画」をテーマとしてとし、クラスをつくっていました。小・中・高校生徒のみならず、先生方への研修も開き、私の任期満了後も性教育が普及することを目指しています。